

## 分野別研究指導教員一覧【博士後期課程】

### 基盤・実践看護学分野

領 域	担当教員	研究指導概要
基礎看護	教 授 菊池 麻由美  連絡先 03-3762-9286 mayumi.kikuchi@	<p>複雑な状況に呼応して自在に変容しながら実践される全体性や、その時その場で作り出される文脈依存性や即興性、無意識のうちに実践が繰り返されるような身体性をもつ看護の営みを探求する。質的記述的な研究方法を用いて看護の実践者の経験を記述すること、および論文作成を指導する。</p>
感染制御	教 授 小林 寅喆  連絡先 03-3762-9247 kobatora@	<p>医療関連施設を中心に市中における感染症とその対策について臨床微生物学を基礎とし、感染制御学の視点から研究を実施する。医療関連施設に限らず市中や自然環境において近年問題となっている抗菌薬耐性菌や病原ウイルスとその伝播経路について生物学的に検証する。主に量的解析による研究と論文作成を指導する。</p>
がん看護	教 授 村上 好恵  連絡先 03-3762-9236 ymura@	<p>がん医療に関連する社会情勢や諸制度の変化および地域社会における看護提供のあり方などを検証し、がん看護の専門的看護実践およびケアシステムの開発の基盤となる研究について量的・質的研究法を用いた実践的研究指導を行う。</p>
臨床看護	教 授 原 三紀子  連絡先 03-3762-9241 mikiko.hara@	<p>臨床看護学領域の看護理論や研究の動向の理解を深め、専門領域における研究課題を科学的な根拠に基づき探求する。主に患者・家族のためのケアモデルの構築、教育プログラムの開発・検証などについての研究指導を行う。</p>

領 域	担当教員	研究指導概要
高齢者看護	教 授 横井 郁子  連絡先 <b>03-3762-9227</b> <b>yokoiyk@</b>	高齢者を取り巻く医療・福祉制度、それらをもとに構築されているさまざまな場での支援体制の現状を踏まえ、高齢者とその家族への看護実践および医療ケアチームの課題についてさまざまな視点から探究できるよう指導する。
	教 授 湯浅 玲奈  連絡先 <b>03-3762-9242</b> <b>rnyuasa@</b>	看護ケアに必要な最先端の医学知識を学び、得た知識を実践看護に役立てられるよう指導する。生理学的、解剖学的視野から疾病の成り立ちを理解し、治療のみならず、未病、予防、また災害時の医療等に関しても包括的に理解することができるよう指導する。
小児看護	教 授 荒木 暁子  連絡先 <b>03-3762-9359</b> <b>akiko.araki@</b>	子どもの健康と発達を支え、子どもが家族や社会の中で健康に育つことを支える、そのための援助方法の開発やシステム構築に関することなど、幅広く探求する。それぞれの研究課題に沿って、小児看護の質改善や向上に寄与できるよう研究指導を行う。

※@の後ろにmed.toho-u.ac.jpを付ける。

## 国際・広域看護学分野

領域	担当教員	研究指導概要
国際保健	教授 夏原 和美  連絡先 03-3762-9254 kazumi.natsuhara@	国際保健の対象となる集団の健康に関わるテーマについて探究したい院生を歓迎する。量的データを自らのフィールド調査に基づいて取得することを推奨する。フィールドへの理解があることによって、分析結果の深い解釈が可能になる。保健学の視点にとどまらず他の関連学問分野からの視点を用いた考察ができるよう指導する。
	教授 坂本 なほ子  連絡先 03-3762-9229 naoko.sakamoto@	疫学を基本とした量的研究の方法論に基づいて、世界に新たな知見を提示できる研究を遂行できるよう指導を行う。
精神看護	教授 伊藤 桂子  連絡先 03-3762-9256 keiko.itou@	社会情勢の動向に目を向け、病院・学校・職場・地域という様々な場で生活する人々のこころの健康の保持・増進における今日的課題について検証し、こころの健康問題に取り組む個人・家族・集団への専門的看護実践およびケアシステムの開発の基盤となる研究について実証的研究指導を行う。
在宅看護	教授 藤原 和美  連絡先 03-3762-9326 kazumi.fujiwara@	在宅看護に関連する各種制度や社会資源の活用、在宅ケアチーム連携、在宅ケアシステムづくり、在宅看護ケアの質の評価、住民の価値観を尊重した在宅ケアの創造について研究し在宅看護の学問体系化に貢献できる実証的研究の指導を行う。
公衆衛生看護	教授 岸 恵美子  連絡先 03-3762-9266 emiko.kishi@	地域・公衆衛生看護の対象である、あらゆる健康レベルの人々の健康課題解決に向けた支援方法、プログラム開発・評価などに関して探求することを指導する。地域・公衆衛生看護学の対象である人々の健康レベルを向上させる、ネットワーク・ケアシステム構築とその評価に関する、量的・質的研究手法を用いた研究指導を行う。

※@の後ろに med.toho-u.ac.jp を付ける。